

## チョウゲンボウ

*Falco tinnunculus* Linnaeus  
ハヤブサ目・ハヤブサ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

### 選定理由

繁殖記録が増え分布も拡大傾向にあるが、繁殖地には、架巣可能な人工建築物と捕食地となる草丈の低い草原が必要である。また食物連鎖の頂点に位置し、生息・繁殖可能な条件が限られ、幼鳥の保護例も多いことから、今後の動向に注目していく必要がある。

### 種の特徴

全長は雄 33 cm、雌 39 cm。雄成鳥は頭～頸と尾羽が青灰色だが、上面は雌雄とも茶褐色である。停空飛翔で探索し、小形哺乳類、小鳥類、昆虫類、両生類、爬虫類を捕食する。本県では、橋、ビル、高圧鉄塔等の人工構造物で、時にカラス類の古巣を使って営巣する。

### 分 布

本州の崖地や市街地の建物等で繁殖し、冬季は全国の草原や農耕地に渡来する。本県の平野部全域で周年確認されるが、繁殖記録は嶺北地方に限られ、河川沿いに多い。

### 生息を脅かす要因

本県平野部の草原生態系の頂点に位置する種であるため、餌動物が多い広い草地が必要である。また、草原近くに架巣可能な人工構造物が必要であることから、こういった環境がセットである地域は少なく、現在の生息環境の保全が本種の存続には欠かせない。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県自然環境保全調査研究会（1999）、福井県（2002）、大西ら（2014）、高野（2015）、中村・中村（1995）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○		○			○	○	○	○	○	○	○

## サンショウクイ

*Pericrocotus divaricatus* (Raffles)  
スズメ目・サンショウクイ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧 II類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧 II類

### 選定理由

県内全域で高い出現率を誇るが、国のレッドリストに選定されているため、今後の動向に注目する必要がある。

### 分 布

本州以南の低地～山地の落葉広葉樹林に夏鳥として渡来し、繁殖する。本県一円で記録があり、繁殖していることは確実である。夏季には、すでに南下する群れが観察される。

### 生息を脅かす要因

県内一円に分布し、観察記録も多いが、繁殖記録はほとんど存在しないため、生息状況を十分把握しているとはいえない。本種の存続のためには、繁殖状況とその環境を確認する等の調査が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県自然環境保全調査研究会（1999）、福井県（2002）、高野（2015）、中村・中村（1995）、叶内ら（1998）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## サンコウチョウ

*Terpsiphone atrocaudata* (Eyton)  
スズメ目・カササギヒタキ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

### 選定理由

夏鳥の中でも記録は多く減少傾向はないが、他県の状況を加見し、今後の動向に注目する必要がある。

### 分 布

本州以南の低地～山地のよく茂った林に夏鳥として渡来し、繁殖する。本県においても、低山帯の高木を伴うよく茂った薄暗い社寺林やスギ林、落葉広葉樹林で観察される。

### 生息を脅かす要因

高木を伴う、よく茂った薄暗い林の保全が必要不可欠である。また美しい種であるため、野鳥カメラマンの格好の被写体になることが多く、インターネット等による生息情報の拡散が起こらない配慮が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県自然環境保全調査研究会（1999）、福井県（2002）、高野（2015）、中村・中村（1995）、叶内ら（1998）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○